

事業所名

石垣まあ〜るのいえ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちが安心して過ごせるもうひとつのいえ					
支援方針		子ども一人ひとりの発達支援のほか、安心できる環境での集団行動など、社会生活を通して子どもの” できること ” と世界を広げていく					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	必要に合わせ定時での排泄誘導、口腔機能向上のためのマッサージや飲水、おやつを利用した摂食を援助します。 パーテーションを利用する等、子どもが自分のことに集中しやすい環境を作ります。 絵や文字を使ったスケジュールボードで可視化を図り、予定をわかりやすく伝えます。					
	運動・感覚	感覚統合遊び（トランポリン、平均台、スイング等）を通して周囲の環境に合わせた姿勢、行動ができるための体幹作りを基礎から実施します。 より良い姿勢で活動が行えるよう、各々に合わせた机と椅子をセッティングします。					
	認知・行動	マッチング課題や触覚遊び等、様々な課題を通して認知機能の発達を促します。 発達段階に応じた数や時計の課題を提示し、空間・時間、数などの概念形成を習得します。 スケジュールの可視化、環境の構造化を取り入れ、誰にでもわかりやすい活動空間にすることで、適切な行動を促します。					
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを伝える、手伝って欲しい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。 子どもの特性やニーズに応じ、絵カードやハンドサイン、文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。					
	人間関係 社会性	安定したアタッチメント形成のため、ふれあい（触覚）遊びを大切にしています。 小集団遊びを通じ、ルールや順番を守る、友達と協力する、負けや失敗を認め受け入れるといった、他者との関わり方に必要なスキルを身に着ける機会を作り、友達と肯定的な関係を作れるよう促していきます。					
家族支援		子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 子育ての困りごとへの相談援助			移行支援	学校・関係機関との連携	
地域支援・地域連携		地域学童との交流 地域のスーパー・飲食店での買い物			職員の質の向上	定期的な研修	
主な行事等		季節に応じた制作活動・遠足・プール（夏）・スーパーや商店街でお買い物					